



令和3年度

学校要覧



上杉山中学校校歌

巽 聖歌作詞

福井 文彦作曲

一、見よ大空に聳え立つ

杉の大樹のその蒼さ

これぞ母校の象徴と

讃えん常に高らかに

上杉山上杉山われら

われらわれらわれらの中学

二、大仙台の北にして

養賢堂の趾かく

享くるは永き伝統の

学びの道のそのころ

上杉山上杉山われら

われらわれらわれらの中学

三、泉が岳に湧く雲の

悠々たるを眺めては

わが若き日の幸福の

涯なき行手おもうかな

上杉山上杉山われら

われらわれらわれらの中学

仙台市立上杉山中学校

〒980-0011 仙台市青葉区上杉6丁目7番1号

電話 職員室 022-234-1241

FAX 022-301-9634

kamisugi@sendai-c.ed.jp

上杉山中学校の教育方針

目指す学校像

挨拶と歌声が響き合
い、共に清く豊かに
生活できる学校
生徒一人一人が生き
生きと活動し、輝け
る場がある学校

学校教育目標

未来に向かって生き生きと
心豊かにたくましく
しなやかに生きる生徒の育成

目指す教師像

生徒、保護者、地
域から信頼される
教師

目指す生徒像

互いに尊重し、共に支
え合う心豊かな生徒

自らの
心身の健康と他への
献身に努力する生徒

自ら課題
を見付け、学習や諸活動
に主体的に取り組む生徒

特色ある教育活動

- ・朝読書の実施
- ・自分づくり教育(キャリア教育)の充実
- ・活発な生徒会活動の推進
- ・ボランティア活動やJRC活動の取組
- ・他の学校との交流活動

- ・日本の伝統文化の継承
- ・良き校風の形成と継承
- ・YOSAKOIや和太鼓の活動
- ・部活動への主体的な取組

- ・指導形態の工夫
- ・グループ学習
- ・チームティーチング指導
- ・少人数指導
- ・GIGAスクールの導入 等
- ・多様な関わりの中で、他者と協働しながら深く学ぶ生徒の育成

重点課題

- ・いじめを許さない学校を目指す心の教育の推進
- ・学校行事、生徒会行事の活用
- ・道徳教育の推進

- ・伝統を継承した創意ある教育活動の充実
- ・学校行事等を核にした体力の増進
- ・創意ある教育活動の充実

- ・適切な教育課程の編成と実施
- ・基礎・基本の知識・技能の習得
- ・判断力・表現力を生かした課題解決の態度の育成
- ・主体的に学習に取り組む態度の育成
- ・ICTを活用した教育の推進

子供たちを育む環境づくり 家庭・地域との協働活動

- 開かれた学校づくり
広報(各種通信, HP 及びメールでの発信) 学校評価(自己・外部)の地域への公表
- 学習環境の整備・美化(校舎内外)

学校評価(教育改善活動の改善)

《協働型学校評価の重点目標》

- ・生徒全員が明るい挨拶ができ、地域に貢献できる生徒の育成

上杉山中学校の主な学校行事 (R3. 4. 1 現在)



令和3年度 生徒会スローガン
常 翔
 ～伝統から未来へと羽ばたけ～

部 活 動

【運動部】

陸上競技部 野球部 サッカー部 ソフトボール部
 ソフトテニス部 (男女) バスケットボール部 (男女)
 バドミントン部 (男女) 卓球部 (男女) 剣道部 (男女)

【文化部】

吹奏楽部 合唱部 美術部

生徒・学級数 (R3.5.1 現在)

	男子	女子	合計	学級数
1学年	88	77	165	5
2学年	89	65	154	5
3学年	94	73	167	5
杉の子	6	2	8	2
合 計	277	217	494	17

校歌制定の歴史

昭和22年4月1日の仙台市立第四中学校の学校設置以来、昭和24年10月の上杉山中学校への校名変更に至るまでに、あらゆる障害をしのいで生徒たちが力強く歩む、そのような校風を作りたいと、東北大学の教授から初代の校長として本校に着任した千葉胤成校長は校歌制定を熟望し、作詞者として決定した異聖歌氏と数人の職員とともに上杉山通から台原付近を散策した。その際、千葉校長は、上杉山の地名は聳え立つ杉の木を連想させ、杉の若木がすくすくと伸びてやがて大きな大木となることから、その姿に上杉山中学校の生徒の姿を重ね合わせたという。

その後作曲の段となり、仙台出身の演奏家であり作曲家であった福井文彦氏により、流麗かつ荘厳な曲調が付されることとなった。各節の終わりにある「上杉山〜われらの中学」の繰り返しは福井文彦氏の創造によるものとされている。

校歌発表会は昭和24年の12月に校舎で盛大に行われ、管弦楽演奏に乗せて、齋藤克子氏が華麗に歌い上げた。この時の演奏はまことに堂々たるもので、上杉山の生徒が心の糧として、永く歌い継ぐにふさわしいものだったと言い伝えられている。

学校沿革

S 22. 4. 1	仙台市立第四中学校として創立	26. 8.24	全国中総体体操出場
	初代校長 千葉胤成先生就任	10.28	防災対応型太陽光発電システム設置
24.10. 1	仙台市立上杉山中学校と校名変更	27. 3.21	全日本アンサンブルコンテスト全国大会出場
12.18	校歌制定 (作詞 異聖歌氏 作曲 福井文彦氏)	3.27	ソロコンテスト全国大会出場
37.10. 1	上杉山中学校分校が「仙台市立台原中学校」 として独立開校	28. 3.28	武道館耐震改修工事
47. 5.16	鉄筋校舎第1期工事竣工	8.17	全国水泳競技大会出場
48. 7. 7	25mプール完成	11.18	日本PTA全国協議会会長賞
52. 4.16	仙台市立上杉山中学校30周年記念式	29. 2.17	体育館トイレ改修工事
H 3. 8. 2	北海道白老町立萩野中学校と姉妹校調印	8.21	全国中総体体操出場
5. 3.14	新体育館・武道館竣工	8.24	全国中総体卓球出場
5. 7. 3	新体育館・武道館落成記念式典	11.18	創立70周年記念式典
7. 4. 1	新入生より新制服に改定	30. 2. 8	全国中総体スキー大会出場
9.10.18	創立50周年記念式典	8.20	全国中総体体操出場
10.22	地域ぐるみ健全育成：屋上看板設置	11. 3	全日本卓球選手権大会(カデット大会)女子ダブルス優勝
13. 4. 1	2学期制に移行	31. 2. 1	全国中総体スキー出場
4. 4. 1	学校評議員制実施	3.22	大型変電設備改修
14. 4. 8	学校週5日制完全実施	R 1. 8.17	全国柔道大会出場
15. 3.24	校舎耐震補強工事完了	8.20	全国卓球大会出場
17.11.30	校舎東トイレ改修工事完了	8.21	全国陸上競技大会出場
23. 3.11	東日本大震災・避難所開設	9.15	東日本学校吹奏楽大会出場
		2. 2. 5	全国中学校スキー大会出場(コロナ禍により中止 代替大会に参加)
		3.20	全日本アンサンブルコンテスト出場

令和3年度 主な職員組織

校 長	吉田 知彦	防 災 主 任	佐藤 卓也	管 理 主 任	加藤 傑		
教 頭	糸谷 俊哉	地 域 連 携 担 当	寺島 将晃	教 科 書 主 任	若生 深雪		
教 務 主 任	永澤 智彦	部 活 動 主 任	増井 香	保健主事・養護教諭	庄司 昌子		
副 教 務・研 究 主 任	大高 俊樹	総 合 主 任	寺島 将晃	事 務	木村 千春		
進 路 指 導 主 事	山田 恵子	道 徳 教 育 主 任	戸田 典子	技 師	木村 雅彦		
生 徒 指 導 主 事	齋藤 践太	特 別 活 動 主 任	熊谷 裕也	技 師	小松ひろみ・前川博子		
いじめ対策主任	齋藤 践太	司 書 教 諭	伊藤恵美子	給 食 パ ー ト	平山・小野・千葉		
不登校対策主任	吉田 研介	特 別 支 援 教 育	山村 陽子	図 書 パ ー ト	鈴木るみ子・山田絹子		
給 食 主 任	小岩 妙恵	学 籍 主 任	阿部さき子	スクールカウンセラー	濱西 智穂		
		第1学年		第2学年		第3学年	
主 任	三品 雅司	英 語	遠藤 美行	理 科	今野 康夫	国 語	
副 主 任	伊藤恵美子	国 語	寺島 将晃	数 学	山田 恵子	数 学	
1 組 担 任	加藤 傑	技 術	寺島 将晃	数 学	戸田 典子	英 語	
2 組 担 任	佐藤 優奈	美 術	増井 香	保 体	鈴木 雄太	理 科	
3 組 担 任	佐藤 卓也	数 学	若生 深雪	英 語	熊谷 裕也	英 語	
4 組 担 任	工藤 友美	音 楽	小岩 妙恵	家 庭	佐藤 純子	数 学	
5 組 担 任	進藤 勇作	理 科	阿部 勇人	社 会	吉田 研介	保 体	
副 担 任			浅野 あい	国 語	阿部さき子	社 会	
杉 の 子 学 級	山村 陽子		山村陽子・齋藤諒太		山村陽子・齋藤諒太		

令和3年度 校舎配置図

